

“鉄より堅く逞しき”

生徒指導通信 第32号
令和4年1月17日発行
黒沢尻工業高等学校

○マイナスを活かす！

先月行われたバスケットのウインターカップ男子決勝戦で、帝京長岡高校が3点ビハインドの残り時間わずかで取ったタイムアウトの際、コーチが「さっきのオフェンス良かったなあ！最後までやろうよ！」という締めくくりの言葉が非常に印象的でした。結果は準優勝でしたが、あの場面でポジティブな声かけができるのは素晴らしいことです。

“ポジティブとネガティブ”、“プラス思考とマイナス思考”、“前向きと後ろ向き”。言葉を聞くと、どうしても前向きに考えることだけを取り上げられてしまいがちです。

大切なことは、「プラス思考が良くて、マイナス思考が悪い」ということではなく、目的を忘れないことです。目的は、目標を達成するために自分の実力を最大限に発揮することです。それを踏まえた上で、自分の思考や行動を選択することが望ましいです。



生徒の中にも、自然に前向きに捉えることができる人もいれば、後ろ向きの考えを持つ人もいます。しかし、前向きな人ばかり集まった集団だと、後ろ向きに考える人を突き放し、具体的な方法を考えることを放棄してしまう可能性があります。具体的な方法やアイデアを考えるために必要になるのが、後ろ向きの思考を持つ人。「もしかしたら負けるかも…」「失敗しないためにどうしよう」という考えを持つ人がいてくれるおかげで、「どうしたらうまくいく？もっとちゃんと考えてみよう！」「どこが不安に感じる？その不安をみんなで取り除こう！」という対話が組織内で生まれます。

素晴らしい魅力的な行動をするために、組織全体で乗り越えていくことで、さらに素晴らしいチームワークにつながります。“前向きに考えることが良い”“後ろ向きはダメ”ではなく、自分たちで思考を選択できる人になっていきましょう。

○皆で「生徒心得」の見直しを考えよう！

生徒指導通信第11号で「生徒心得」の見直しをお願いしました。夏休みには、「校則」見直しの先駆者的存在になっている大槌高校に生徒会執行部員が出向き、意見交換をして研修して来ました。それ以降、活動を休んでいましたが、再び動き出しています。



スマホ禁止

肝心なことは、一部の生徒だけが考えるのではなく、皆が気持ちを向けることです。今一度、「生徒心得」に目を通してみてください。3年生にとっては、直接的な関係は無くなってしまいますが、色々と意見を出してもらえればありがたいです。是非、協力をお願いします。来年度から施行できるよう進めていくつもりです。



悩みに負けてしまわず、自分なりの新しい見方、解釈を見出して、その悩みを乗り越えていくことが大切である。

by 松下幸之助(松下電器創業者)